

# 「気候変動対応道路」システムにおいて

## 《ネットワークマーケティングのビジネス提案》

### 1. はじめに

我国日本や各地方自治体において、特に財政事情については最も深刻な状態であり、今迄のような国の補助金制度により事業を行う事には限度があり、ましてや地球温暖化対策及び自然災害に対して、早急に内需対策としてインフラ整備を行う必要がある。

したがって、このインフラ整備行う為には次のような事を前提としてはどうだろうか。

- ① 整備体制としては、公共事業と民間事業及び実証実験とに分けて考え、公共事業としては早期に優先すべき事業として行政単位又は管理者単位で行い、事務手続きや、地元工事業者の選定に対し、スムーズに事業をとり行える様配慮する。その為、行政単位や管理者単位に対して一括事業が行える様に許諾権をあたえる事ができるようにする。
- ② 許諾費用の考え方として、融雪を主とした場合には年間除排雪費用を参考にし、雨水対策を主とした場合には雨災害費用を参考にし、暑熱（ヒートアイランド）対策を主とした場合には夏場の電力費用を参考にし、又このシステムではCO<sub>2</sub>排出削減量が大きくなる事が予想されるので削減量を参考としてはどうだろうか。少なくとも雪対策において通常ロードヒーティングに比べて8～9割の削減が見込める。
- ③ 更に日本国や各地方自治体には現在の財政事情を考慮し、他の自治体等へ許諾権の転売（ネットワークマーケティング）や分割の支払いができる様に配慮する。
- ④ 民間事業として、個人の住宅や駐車場についてはCO<sub>2</sub>削減量に対し、融資や助成金等を配慮し、これらの工事に対しては約5%程度の特許使用料として取り扱う。（公共側の実証試験も同様扱いとする。）
- ⑤ 道内における経済効果は直接効果だけ推定しても100兆円以上の規模となり、更に1次2次そして総合波及効果も大きくなるものと推察できる。

## 2. 特許権者との取扱いについて

- ① 特許権者より事前の許可がある場合は「気候変動対応道路（E<sup>3</sup>ロード）システム」の使用を認める。
- ② 事前の許可については書面、費用、設置箇所等協議決定のうえ許可する。
- ③ 事前協議外の事案についてはすみやかに報告し、再度協議決定のうえ続行できる。
- ④ 使用許可については、公共用と民間用等に分け、それぞれ許諾の設置区域や箇所を考慮して許諾の費用を決めていく。
- ⑤ 使用時に使用者より要請があった場合には、相談、調査設計、施工管理をサポートする。但し、内容により委託として受託する事もある。

## 3. 許諾権の取扱いについて

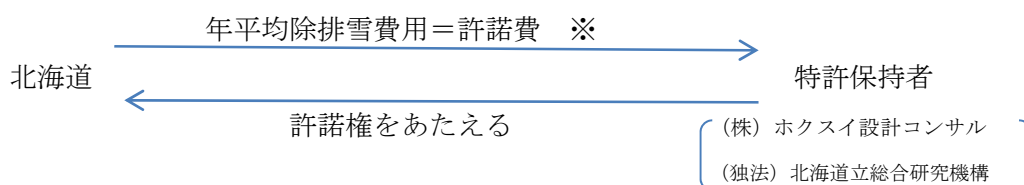
- ① 特許権者より「気候変動対応（E<sup>3</sup>ロード）」システムの使用許可を得たものは次のように使用できる。
  - イ) 公共用として地域一括使用とした場合には別途積算のうえ一括費用の充当により許諾権をあたえる。
  - ロ) 民間用として各一工区ごと使用とした場合には工区ごとに工事費の5%を特許権者に支払う。
  - ハ) 実証実験用として使用の場合には工区ごとに工事費の5%を特許権者に支払う。  
(一括許諾権がない場合)
- ② 許諾者は他の公共用地域に転売する事ができる。但し、転売した費用のうち2/3は寄付金又は特別地方納付税等とし、回収金として扱い、そのうちから公共の事業費や民間への融資や助成金等にあてる様にし、残り1/3を特許保持者へ支払うものとする。

転売できる例として

- ・北海道は許諾権を日本国、他都府県、政令都市及び他国の自治体等を対象に転売する事ができる。
- ・日本国は他国に対し許諾権を転売する事ができる。
- ・市町村は民間以外に公共用として許諾権を転売する事ができる。

③ 公共用許諾と費用の取扱い

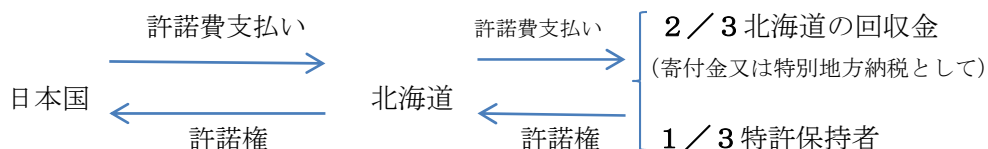
イ) 雪対策を主とした場合の基本型 (例)



※分割払い有 (年利別途算出)

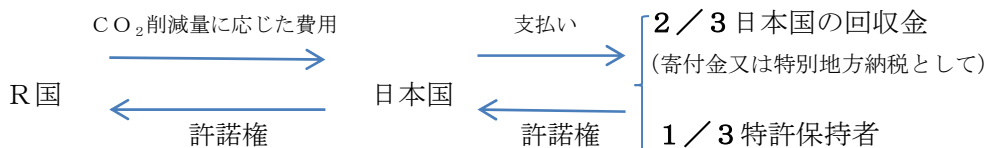
※CO<sub>2</sub>削減量に応じた費用又は雨災害費、夏場電力費を参考に設定する。

ロ) 許諾権者が他に転売決定の場合 (例)



他県の場合でも同様

ハ) 日本国が他国に対し許諾を販売した場合 (例)



ニ) 地方自治体でも同様とし二カ所の転売を限度とする。但し、他国の自治体には限度なし

#### 4. 公共工事費の扱い

- ① 許諾販売した結果生じた2／3の回収金と災害対策（雪、雨、暑熱）に要していた費用が面整備と伴に災害費用の浮いた費用が今迄の国の補助金に充当するものとする。
- ② 民間のケーブル等の地中下等に伴い、工事費の案分化として公共工事費を浮かす。
- ③ その他足りない資金についてはできるだけ自治体の単費等で行う様に努力する。